

□ 要請番号 (JL51525B32)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ケニア	G182 小学校教育		個別	新規	2年	・ 2026/2 ・ 2026/3 ・ 2027/1



## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

## 2) 配属機関名 (日本語)

セントマリー小・中学校

## 3) 任地 (ナイロビ郡ナイロビ) JICA事務所の所在地 (ナイロビ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 0.5 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はナイロビ郡内にある男女共学の公立小・中学校(9年制、日本の小学校1年生～中学3年生相当)である。教員数は約20名、生徒数は約900名。生徒は自宅から通学しており、1時間以上歩いて通学する生徒も多い。約7割の生徒がスラム地域の出身であり、その約半数はアフリカ最大といわれるキベラスラム出身である。そのせいか、地域では学力が低いとされている学校である。1クラス40～50名程度で1日8コマ、小学生は1コマ35分、中学生は1コマ40分で時間割が組まれている。授業後は、スポーツや数学クラブなどの課外活動の時間が設けられている。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

2025年より、8-4年制であった初等・中等教育課程が日本と同様の6-3-3年制へと本格的に移行された。これに伴い新しいカリキュラムが導入され、生徒主体の教授方法やICTを活用した授業が推奨された。しかしながら、教員はその様な教授方法に不慣れであり、特に数学と理科において生徒の興味・関心を向上させ学力を伸ばす為の支援を必要としている。また、使用できる機材は少ないながらも、生徒のデジタルリテラシーを向上させる事のできる教員を求めている。これらの理由から、JICA海外協力隊の要請に至った。配属先の近郊にはJICAの支援で設立されたアフリカ理数科・技術教育センター(CEMASTEА)があり、校長からは連携による生徒の学習機会の拡充が期待されている。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

校長、教員と相談の上、以下の活動を行う。

- 一人の教員として、主に小学4年生以上の生徒に対して数学と理科の授業を行う。
- 授業後に行われる課外活動の運営に参画する。
- CEMASTEАなど他の機関とも連携し、生徒たちの学習機会の拡充を図る。
- 可能な範囲において、ICTに関する授業を担当する。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

タブレット端末10台(Windows)、ラップトップPC3台(Windows)、デスクトップPC台(Windows)、プロジェクター1台、教室、黒板、チョーク

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

- ・校長(50代女性)・教頭(40代女性)
- ・教員20名

活動対象者:

- ・小学校1年生～中学3年生

#### 5) 活動使用言語

英語

#### 6) 生活使用言語

スワヒリ語

#### 7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

### 【資格条件等】

[免許/資格等]: (小学校教諭)

[学歴]: (大卒) 備考: 同僚の学歴に合わせるため

[性別]: ( ) 備考:

[経験]: (指導経験) 2年以上 備考: 授業を行うため

[参考情報]:

- ・ICTに関する知識があると望ましい

#### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]: (サバナ気候) 気温: (10～25℃位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水源]: (安定)

### 【特記事項】

### 【類似職種】